

令和6年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立港町小学校
(両城中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	+4.3	+0.6
令和5年度	+7.8	+5.5
令和4年度	+4.4	+1.8

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

国語		重点課題
<p> 国語 話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 我が国の言語文化 情報の扱い方 </p> <p> 本校 72.0% 全国 67.7% 県 69.0% </p>	◎目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることに課題がある。(設問2-1)【書くこと】(平均正答率77.1%) ◇目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書いたり、必要な情報に着目して要約したりすることに課題がある。【思考・判断・表現】	
	◎発達段階に応じて、情報をメモにして表す活動を随時取り入れ、書く目的や意図に応じて、メモの取り方を工夫することができるようにする。 ◇目的や意図に応じて、情報を結び付けながら条件に従って書く活動を設定する。	
	◎全国学力(設問2-1)(第5学年, 1月) 目標 80%→結果 89.7% ◇標準学力調査(全学年, 12月) 目標 全国平均との差+5.0→結果+1.5	
算数		重点課題
<p> 算数 数と計算 図形 データの活用 変化と関係 </p> <p> 本校 64.0% 全国 63.4% 県 64.0% </p>	◎球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことに課題がある。(設問3-3)【図形】(平均正答率25.7%) ◇グラフから必要な情報を読み取り、言葉や数を用いて説明することに課題がある。【思考・判断・表現】	
	◎図形を構成する要素に着目しながら、具体物を用いて体積の求め方を考え、式に表すことができるようにする。また、式が表している意味を考えることができるようにする。 ◇日常的な事象を数学的な見方で捉え、数学的用語を用いて説明する活動を充実させる。	
	◎全国学力(設問3-3)(第5学年, 1月) 目標 60%→結果 89.7% ◇標準学力調査(全学年, 12月) 目標 全国平均との差+5.0→結果+1.8	

【来年度に向けて】

国語科では、発達段階に合わせて、目的や意図に応じて、情報を結び付けながら条件に従って書く活動を設定する。算数科では、特に図形単元において、具体物を用いた授業づくりを行い、辺や角、頂点など図形を構成する要素に着目しながら、問題を把握できるようにする。また、帯タイムに設定したスキルタイムで、基礎・基本的な読解力や計算力を身に付けさせる。